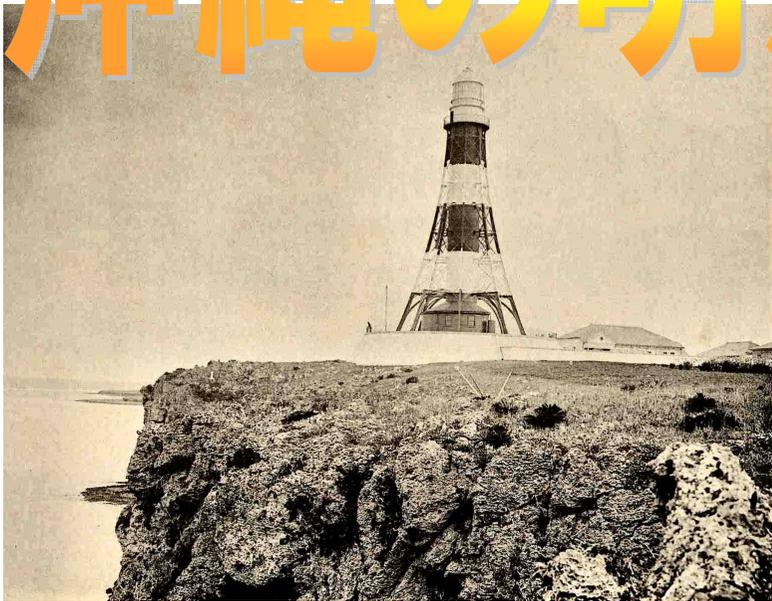


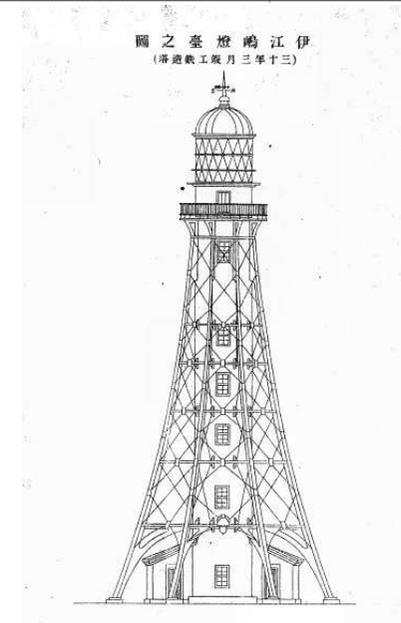
# 沖縄の明治期の灯台



# 灯台の位置・点灯開始等時期



灯台名	点灯開始	構造	灯高
観音崎	明治2年1月1日	煉瓦造 四角形	12.1m (4丈)
先原崎	明治29年11月25日	煉瓦造 円形	12.1m (4丈)
津堅島	明治29年11月25日	鉄造 六角形	12.4m (4丈1尺)
伊江島	明治30年3月5日	鉄造 八角形	30.3m (10丈)
三重城	明治33年4月20日	煉瓦造 四角形	3.6m (1丈2尺)



航路標識管理所第一年報掲載図

# 先原崎灯台

明治29(1896)年11月25日点灯開始



# 建設中の先原埼灯台の紹介記事

明治二十九年十月二十五日頒布

## 建築雜誌 第百十八號

造家學會

を要す地と可相成乎と存候

市内洋風建物は那覇郵便局と(明治廿八年新築)共同會館なる南陽館の  
 二商處に有之候郵便局は立派なる洋風木造建築にて當地第一との事に  
 御座候此他には西洋風の建築としては無之獨り裁判所は例の和洋折中に  
 て昨夏工事に着手本年六月に竣工致候之れは當地官署の宏壯なる物の  
 第一に御座候縣廳は廣くは依得共粗雑なる和風建築に有之候之れは隨  
 分舊き建築の様相見候得は今後永き保存は六ヶ敷事と存候實に建築の  
 見るべきもの無之煉瓦造は今回の燈臺建築を以て始と致候縣廳にては  
 煉瓦造の殿を建築致するを見受度既して建築には力能なる處に御座候  
 縣廳にも眞に建築

ても門内に樹形を  
 意しあり屋根は茅  
 目は漆喰を塗被し  
 漆喰にて棟の鼻を  
 如く相見へ候此等  
 る由實地に經驗致  
 隙より強き風に送  
 風雨の折は流れを  
 築は當地には適し  
 に依り全く同建築

田 車 由 里 北 の 十 伍 五 五

百十八號

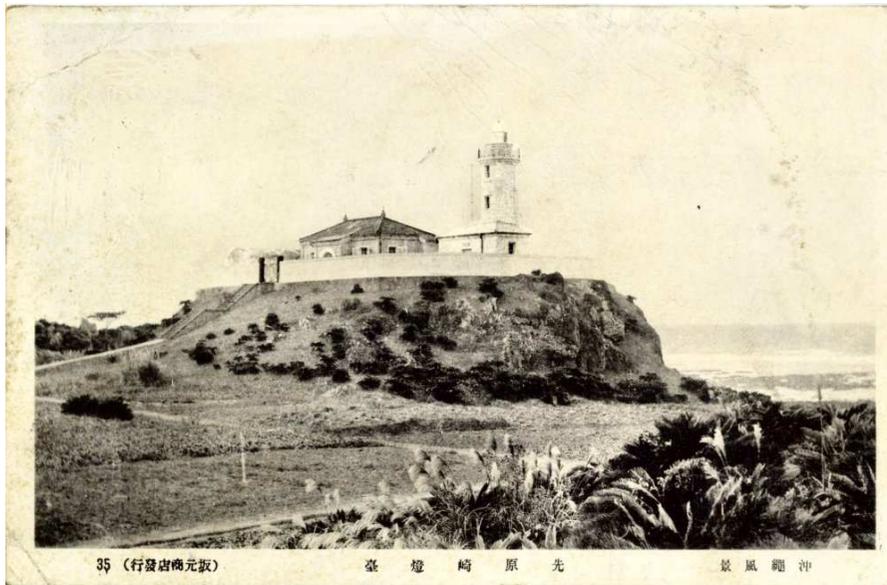
二百五十

### ○沖縄縣監獄署製造煉瓦石試驗表

準員 本多 都君 報告

番号	寸法	重量	吸水率	比重	吸水率
一	五七五×七五〇	七〇〇	八〇	四三三	九三三
二	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
三	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
四	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
五	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
六	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
七	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
八	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
九	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
十	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
十一	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
十二	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三
十三	五七五×七五〇	七〇〇	九〇	四三三	九三三

# 絵葉書の先原埼灯台



個人所蔵絵葉書

# 爆撃で崩壊した先原埼灯台



# 現在の先原埼灯台跡地



# 津堅島灯台

明治29(1896)年11月25日点灯開始



# 在りし日の津堅島灯台



一般社団法人燈光会 所蔵写真

# 津堅島灯台跡地



# 三重城灯台

明治33(1900)年4月20日点灯開始



臺 燈 城 重 三  
Miyegushiku Lighthouse, Naha Harbour, Okinawa Islands.

# 三重城灯台 (昭和初期)



個人所蔵絵葉書より抜粋



燈光会 昭和5年発行写真集「燈台」掲載写真

# 三重城に残るレンガ塊と灯台跡

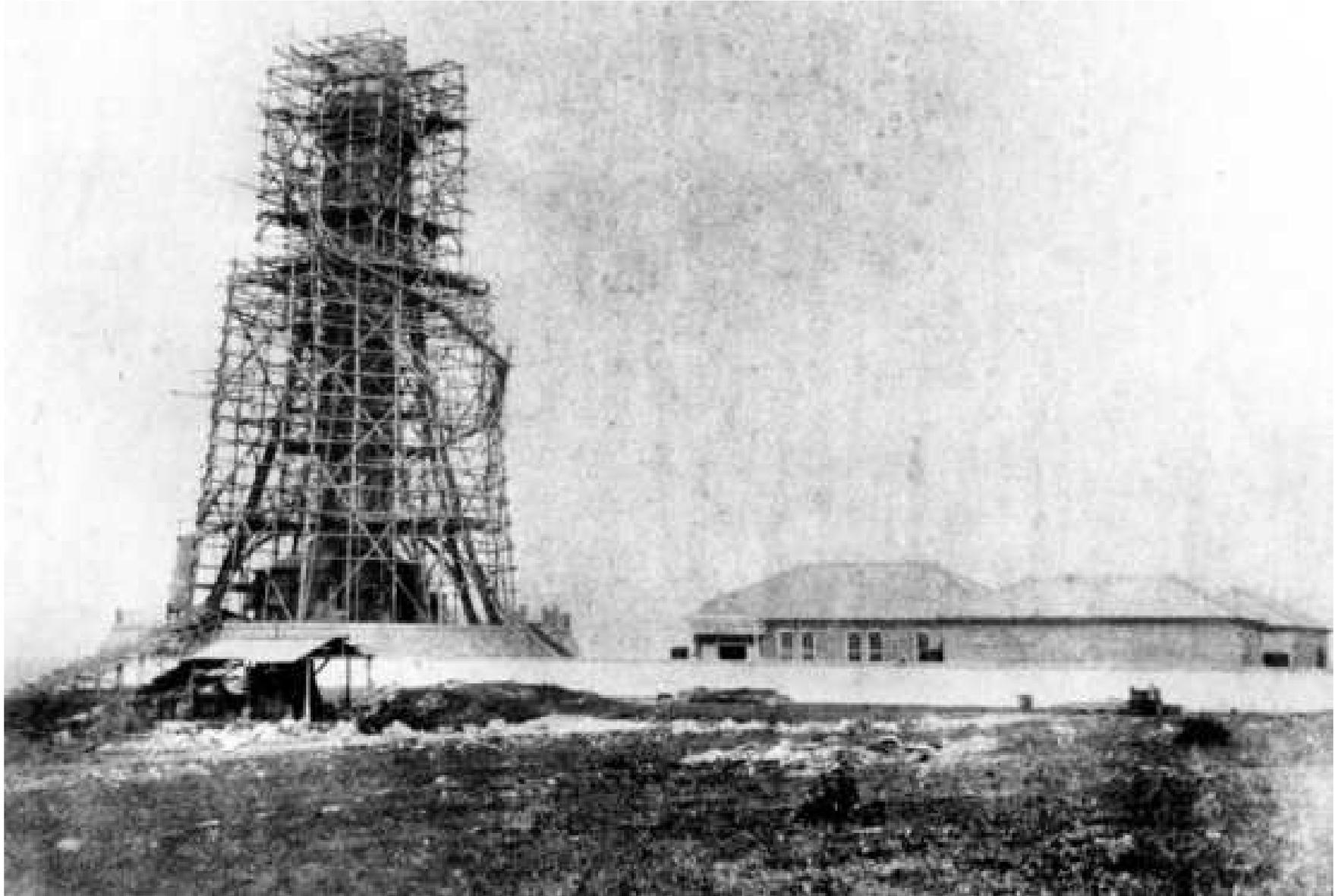


# 伊江島灯台

明治30(1897)年3月5日点灯開始



# 建設中の伊江島灯台





写真集「望郷沖繩」掲載写真



灯台局職員 関郡次郎氏作 燈光会所蔵



燈光 昭和5年8月号掲載写真

# 現在の伊江島灯台跡地(現伊江島灯台)



